

第5回 北杜市消防団活性化検討委員会 会議録

1. 会議名 第5回北杜市消防団活性化検討委員会
2. 開催日時 平成28年8月2日（火） 午後1時30分～午後3時15分
3. 開催場所 北杜市役所 北館大会議室
4. 出席者（敬称略）

出席委員：清水康男、篠原芳英、鈴木猛康、萩原英二、大黒 薫、波木井義和
櫻井八州彦、加藤敏夫、名取 強、木嶋 昭、鈴木今朝和、日向 勝
坂本榮富、篠原克巳、小針長男、小澤邦壽、渡邊 稔、高垣直威
八巻昌隆、中山公太、小澤 浩、志田 浩

欠席委員：功刀孝次郎、藤森孝之、高相克彦

事務局：副市長（あいさつ）

坂本総務部長、宮川地域課長、中田防災調整監、栗沢リーダー、清水

会議録署名委員 篠原芳英、萩原英二

5. 議題

- ① 開会
- ② 経過報告
- ③ 自己紹介
- ④ 委員長あいさつ
- ⑤ 市長あいさつ
- ⑥ 議事

(1)北杜市消防団活性化検討委員会検討経過について

(2)北杜市消防団の活性化について（提言取りまとめ）

(3)その他

- ⑦ 閉会

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴人の数 0名

8. 審議内容（司会進行：事務局）

1 開会

- ・事務局より開会の挨拶

2 経過報告

- ・活性化検討委員会の設置目的、所掌事務について説明。
- ・平成26年12月からの会議開催状況について。（今日まで4回開催）
- ・アンケート調査の実施について。
- ・年度を跨いで開催になり、今年度も12名の委員が新たに委員となる。
（新委員へ委嘱状の交付）
- ・新委員については、初めての会議がこれまでの取りまとめになり、大変失礼であるが、本日の取りまとめについてご協力をいただきたい。

3 自己紹介

4 委員長あいさつ

- ・今までの4回の検討委員会で、多くの意見を頂いている。
- ・本日は、今までの総まとめをお願いしたい。
- ・まとめに当たって、皆さんから忌憚のない意見をいただきたい。

5 市長あいさつ（市長出張のため副市長あいさつ）

- ・人口減少、少子高齢化のなか団員数の減少が懸念されている。
- ・北杜市は面積が広く団員数も1800人と県内最大の消防団。
- ・団員については、自らの地域は自ら守る自助共助の精神から、地域防災の中心的存在として住民の安全確保のため大きな役割を担っていただいている。
- ・しかし、団員数の確保が困難な状況から、消防団の活性化を図るために本委員会を立ち上げた。
- ・本日は、是非とりまとめをお願いし、委員の皆様の活発なご意見をお願いしたい。

6 議事

（検討委員会設置要綱第6条の規定により清水委員長に議長をお願いする。）

(1) 北杜市消防団活性化検討委員会検討経過について

- ・事務局より、資料1 資料2に基づき、まちづくりビジョンについて説明。

（委員長）ご意見ご質問がありましたらお願いします。

（委員）2点質問したい。

まず、北杜市の消防団員の勤め先（市内、市外）について把握している

か。

次に、先日甲府で学生さん二人が入団という記事が山日新聞にのっていたが、学生の頃から長男が入団するという仕組みづくりについて何か考えているか。

(事務局) 消防団の勤め先については、詳しい町の区分は把握していないが、市内、市外については調査している。

回答率80%で1444人の回答、市内に住んでいる人(1195人→市外勤務423人、市外に住んでいる人(249人→市外勤務150人)

次に、長男が入団する仕組みづくりについては、特に市では考えていない。従来どおり消防団員や、地域の方による勧誘によるものである。

(委員) 北杜市内では、消防団員を町で区分するのではなく、職場が違う町にあれば、町を越えて一緒に消火活動をしていただくということも今後の検討として欲しい。

(委員長) 貴重なご意見として参考にする。

(委員) 団員の確保について、高校生、大学生などを含めることもお願いしたい。

(委員) 女性消防隊のことについて、構成員の詳細は。

(事務局) 女性消防隊・団員は、今から公募をかける。民間、公務員等広く呼びかけたい。

(委員長) 北杜市消防団活性化検討委員会検討経過については以上としたい。

(2) 北杜市消防団の活性化について(提言取りまとめ)

・事務局より、資料3に基づき説明。

(委員長) ご意見ご質問がありましたらお願いします。

(副委員長) 先月消防の幹部役員会があり、同様の内容が話し合われた。

女性消防隊、機能別消防団等が話し合われた。ラップ隊に女性団員もという意見もあったので報告する。

(委員) 地域の中で消防団員をどのように捉えているか。親自体も薦めない。

自主防災組織の中でも、消防団員の役目が薄れている。消防団員の位置づけが必要。長期間の任務を終えても地域では知らない。進入団員も知らない。これでは地域の中での意識が薄れてしまう。

また、組織再編により団員の管轄が広域となったため、併せて昼間地元消

防団員がいないことから水利もわからない状況がある。これでは非常に不安であるので、組織の再編は特に注意が必要である。

待遇改善ということでは、大災害が発生した場合、消防団員は長期に渡り対応しなければならない。団員手当はしっかりと考えて欲しい。

(委員長) 貴重なご意見として参考にする。

今日は全体のまとめであり、貴重なご意見は加えさせていただく。

(委員) 地域にいるのは高齢者。その方を使うのが良い。自主防災の中に消火栓によるOB消化隊の設置をしたらどうか。保険は区で対応する。

(委員) 高根には消防応援隊組織がある。60歳以上70歳以下。応援隊についても今後女性の加入を勧めたい。市とも相談して進めたい。

(委員) 女性団員の採用は非常に難しいと思う。実際の火災では消防団OBの力は非常に大きいので、どう組織化するか検討が必要。

(委員長) 皆さんからの意見からも消防団OBについては、非常に有効であると思う。

(委員) 市内の自主防災組織の結成数は。後援隊組織についても消防団OBで楽しい組織作りも必要ではないかと考える。その際、消火栓は一般市民も使用してよいのか。

(委員) 自主防災組織は市内で52組織。消防団OBの活用については今回の提言の重点項目としている。消火栓については、有事の際、普段の訓練のように住民の皆さんで使用して欲しい。

(委員) 自主防災組織における補償については対象となるか。施設の効率的利用について、火の見櫓は非常に高く危険であるので、中間に鐘を設置するなど検討をお願いしたい。

(事務局) 自主防災組織の補償について、消防活動の中で消防団から依頼したものについては、補償の対象となる。独自の活動は対象になるか即答できないが、いづれにしても協力をいただくということであれば、補償については十分検討していかなければならないということで、提言書にも記載したところ。

火の見櫓についても施設の整の中で記載している。

(委員長) 山梨県消防保安課長から意見をいただきたい。

(委員) 重点項目について県としてお手伝いできることについて、

女性消防団員の採用について

- ・6月議会で消防庁の国庫事業により女性消防団員のハンドブックを作成する。年内には取りまとめるのでPRに必要ということであれば必要部数を用意する。また、募集の告知も対応したい。

自主防災組織との連携について

- ・消防学校での研修について。昨年度から自主防災組織の方も対象としているので、消防団と連携してのカリキュラムも検討したい。

企業との連携について

- ・協力事業所表示制度について、4月から全ての市町村で導入された。県では今後協力事業所にメリットが受けられるような仕組みづくりを検討していきたい。

(委員長) 是非実行に移してほしい。

山梨大学鈴木教授にご意見をお願いしたい。

(委員長) 県への要望として、県内でも女性消防団員が増えていると思うが、

その成功事例を集めて市町村に情報提供して欲しい。協力事業所制度についても同様、協力するメリットを啓発して欲しい。

提言については、消防団と自主防災組織が混在している。消防団の活性化策なので、消防団から見た自主防災組織に整理したらどうか。しかし双方は切り離すことは出来ないので、地区を守るという観点から地区防災までもって行って欲しい。

(委員長) 意見もたくさんいただいたので、委員長、副委員長、事務局で検討し提言に盛り込むものは盛り込みながら最終の提言書として取りまとめたいが、一任していただけるか。

(委員) 了解。

(3) その他について

- ・事務局より、今後の日程について説明。取りまとめたものは委員の皆さんに送付する。また、委員長・副委員長から市長に提言していきたい。

7 閉会 副会長

会議終了 午後3時15分